※令和４年度以降入学生用

学校番号	3037

令和５年度　英語科

教科	科目	単位数	指導学年	教材名・副教材名
英語	総合英語Ⅰ	5	第１学年	啓林館「ELEMENT English Communication Ⅰ」

１　担当者からのメッセージ（学習方法等）

総合英語Ⅰの授業は、英語を「聞くこと」、「読むこと」、「話すこと（やり取り、発表）」、「書くこと」という４技能５領域を統合的に学ぶ授業です。英語を読んだり聞いたり、また自分の考えや様々な情報について英語で話したり書いたりする言語活動を行います。大学入試にも対応し、且つ将来グローバルリーダーになるために必要な英語力を身につけることを目標としています。授業では英語を使う活動がたくさんありますので、積極的に取り組みましょう！

２ 学習の到達目標（「CAN-DO リスト」の形での学習到達目標）

【第１学年】

領域	聞くこと	読むこと	話すこと（やり取り）	話すこと（発表）	書くこと
学習到達目標	①スピーチや会話を聞いて、ポイントをつかみながら内容を理解することができる。 ②自然な速さで話される英語の音を聞き取ることができる。(ディクテーションできる)	①まとまりのある英文を後戻りすることなく、一定時間内に読み、各段落のトピック・サポート・例示・詳細などを抑えながら全体の趣旨を理解することができる。 ②構文を理解しながら日本語に訳すことができる。	①他者の意見を聞き、自分の意見を表明し、会話を進めることができる。	①正確な発音・イントネーションで音読でき、話すときにも意識することができる。 ②簡単なトピックに関して、準備をして１分程度具体的な理由を添えてスピーチができる。	①与えられたトピックに関して、少しの時間の準備でまとまりのある文章を書くことができる。 ②複数の段落で、序論・本論・結論を意識して、論理的な文章を書くことができる。 ③学んだ文法事項を使って英文を書くことができる。

３ 学習評価(評価の観点と実施方法)

観点	a 知識・技能	b 思考・判断・表現	c 主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	・英語の音声や語彙、表現、文法、言語の働きなどについて理解を深めている。 ・英語についての音声や語彙、表現、文法、言語の働きなどの知識を、聞くこと、読むこと、話すこと、書くことによる実際のコミュニケーションにおいて、目的や場面、状況などに応じて適切に活用できる技能を身に付けている。	コミュニケーションを行う目的や場面、状況などに応じて、日常的な話題や社会的な話題について、英語で情報や考えなどの概要や要点、詳細、話し手や書き手の意図などを的確に理解したり、これらを活用して適切に表現したり伝え合ったりしている。	英語の背景にある文化に対する理解を深め、聞き手、読み手、話し手、書き手に配慮しながら、主体的、自律的に英語を用いてコミュニケーションを図ろうとしている。
上に示す観点に基づいて、学習のまとまり（領域）ごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。 学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。			

※令和４年度以降入学生用

４　学習の活動

学期	課 “題材名”	領域	評価規準	評価方法
1学期	Lesson 1 “Intercultural Relationships” Lesson 2 “Love beyond Species” Scene 1,2	聞くこと	a: 英語の音声の特徴（強弱のリズム・イントネーション、つながりやすい音・変化しやすい音）を理解している。 b: 身近な事柄（「日本文化の紹介」や「ペット」など）について、必要な情報を聞き取っている。 c: 身近な事柄（「日本文化の紹介」や「ペット」など）について、必要な情報を聞き取ろうとしている。	定期考査 授業内活動 小テスト 提出物
		読むこと	a: 英語の５文型、受動態、to-不定詞、現在完了形／現在完了進行形、分詞の意味や働きの理解を基に、英文の内容を読み取る技能を身に付けている。 b: 身近な事柄（「日本文化の紹介」や「ペット」など）に関する英語で書かれた文章を読んで、概要を捉えている。 c: 身近な事柄（「日本文化の紹介」や「ペット」など）に関する英語で書かれた文章を読んで、概要を捉えようとしている。	
		話すこと （発表）	a: 時間や前後関係を表す語句などの意味や働きを理解している。 b: 身近な事柄（「日本文化の紹介」や「ペット」など）に関する英語で書かれた文章を読み、その内容について基本的な語句や文を用いて話している。 c: 身近な事柄（「日本文化の紹介」や「ペット」など）に関する英語で書かれた文章を読み、その内容について基本的な語句や文を用いて話そうとしている。	
		書くこと	a: 英語の５文型、受動態、to-不定詞、現在完了形／現在完了進行形、分詞の形式や意味、使い方を理解し、自分のことや身の回りのものについて書くために必要な技能を身に付けている。 b: 自分のことや身の回りのものについて簡単な語句や文を用いて書いている。 c: 自分のことや身の回りのものについて簡単な語句や文を用いて書こうとしている。	
	中間考査			
	Lesson 2 “Love beyond Species” Scene 3,4 Lesson 3 “Contributing to Our Planet”	聞くこと	a: 英語の音声の特徴（消える音・弱くなる音，短縮形）を理解している。 b: 社会的な話題（環境問題等）についての説明を聞き、要点を理解している。 c: 社会的な話題（環境問題等）についての説明を聞き、要点を理解しようとしている。	定期考査 授業内活動 小テスト 提出物
		読むこと	a: 関係代名詞、使役動詞の意味や働きの理解を基に、英文の内容を読み取る技能を身に付けている。 b: 日常に関わる話題（環境問題等）に関して書かれた文章を読んで、概要を捉えている。 c: 日常に関わる話題（環境問題等）に関して書かれた文章を読んで、概要を捉えようとしている。	
		話すこと （やり取り）	a: 相づちを打ったり、聞き直したりする等、コミュニケーションを円滑にするための言語の働きを理解している。 b: 日常に関わる話題（環境問題等）について、簡単な語句や文を用いて伝えあっている。 c: 日常に関わる話題（環境問題等）について、簡単な語句や文を用いて伝えあおうとしている。	
		書くこと	a: 関係代名詞、使役動詞の形式や意味、使い方を理解し、物語のレポートを書くために必要な技能を身に付けている。 b: 物語のレポートを基本的な語句を用いて簡単な英文で書いている。 c: 物語のレポートを基本的な語句を用いて簡単な英文で書こうとしている。	
	期末考査			
2学期	Communication in Practice 1 Lesson 4	聞くこと	a: 注意事項等の説明で使われる表現を理解している。 b: 注意事項や身近な人物に関する説明を聞き、要点を理解している。 c: 注意事項や身近な人物に関する説明を聞き、要点を理解しようとしている。	定期考査 授業内活動 小テスト 提出物

※令和４年度以降入学生用

	“Messages for World Peace” Lesson 5 “Respecting Each Other”	読むこと	a: 過去完了形、知覚動詞、関係代名詞の what、関係副詞の意味や働きの理解を基に、英文の内容を読み取る技能を身に付けている。 b: パンフレットや物語文を読んで、必要な情報を読み取ったり、登場人物の心情をおさえたりして、概要を捉えている。 c: パンフレットや物語文を読んで、必要な情報を読み取ったり、登場人物の心情をおさえたりして、概要を捉えようとしている。	
		話すこと （やり取り）	a: 予定について話したり、図やイラストについて説明したりする際に使う表現を理解している。 b: 予定について話したり、図やイラストについて説明したりする際に、簡単な語句や文を用いてやり取りを続けている。 c: 予定について話したり、図やイラストについて説明したりする際に、簡単な語句や文を用いてやり取りを続けようとしている。	
		書くこと	a: 過去完了形、知覚動詞、関係代名詞の what、関係副詞の形式や意味、使い方を理解し、社会的な話題（平和）について書くために必要な技能を身に付けている。 b: 社会的な話題（平和）について、簡単な語句や文を用いて自分の意見を書いている。 c: 社会的な話題（平和）について、簡単な語句や文を用いて自分の意見を書こうとしている。	
	中間考査			
	Lesson 6 “Language and Culture” Lesson 7 “Technology and Discoveries”	聞くこと	a: ニュースやスケジュールに関する英文で使われる表現を理解している。 b: ニュースやスケジュールを聞き、要点を理解している。 c: ニュースやスケジュールを聞き、要点を理解しようとしている。	定期考査 授業内活動 小テスト 提出物
		読むこと	a: 関係代名詞の非制限用法、分詞構文、形式主語構文の意味や働きの理解を基に、英文の内容を読み取る技能を身に付けている。 b: 人物について書かれた文章を読んで、概要を捉えている。 c: 人物について書かれた文章を読んで、概要を捉えようとしている。	
		話すこと （発表）	a: 自分以外の他者について客観的に話すときに使われる表現を理解している。 b: 作家のスピーチや発明についての英文を読み，その内容について必要な語句や文を用いて話している。 c: 作家のスピーチや発明についての英文を読み，その内容について必要な語句や文を用いて話そうとしている。	
		書くこと	a: 関係代名詞の非制限用法、分詞構文、形式主語構文の形式や意味、使い方を理解し、日本文化や書籍について書くために必要な技能を身に付けている。 b: 日本文化や書籍について簡単な語句や文を用い、短い説明文を書いている。 c: 日本文化や書籍について簡単な語句や文を用い、短い説明文を書こうとしている。	
	期末考査			
３学期	Communication in Practice 2 Lesson 8 “Standing Up for Human Rights” Communication in Practice 3	聞くこと	a: 社会的な話題（人権等）について話された説明の内容を捉える技能を身に付けている。 b: 社会的な話題（人権等）について話された説明を聞き、必要な情報、概要、要点を捉えている。 c: 社会的な話題（人権等）について話された説明を聞き、必要な情報、概要、要点を捉えようとしている。	定期考査 授業内活動 小テスト 提出物
		読むこと	a: 仮定法、過去完了進行形の意味や働きの理解を基に、英文の内容を読み取る技能を身に付けている。 b: 社会的な話題（人権・ボランティア等）について書かれた文章を読んで、要点を捉えている。 c: 社会的な話題（人権・ボランティア等）について書かれた文章を読んで、要点を捉えようとしている。	
		話すこと （やり取り）	a: 相手の意見に同意したり反対したりする表現を理解している。 b: 社会的な話題（ボランティア等）について、自分の考え、気持ちなどを、簡単な語句や文を用いて伝え合うやり取りを続けている。 c: 社会的な話題（ボランティア等）について、自分の考え、気持ちなどを、簡単な語句や文を用いて伝え合うやり取りを続けようとしている。	
		書くこと	a: 仮定法、過去完了進行形の形式や意味、使い方を理解し、社会的な話題（人権）ついて論理的に一貫性のある文章を書くために必要な技能を身に付けている。	

※令和４年度以降入学生用

			b: 社会的な話題（人権）について、情報を整理して論理的に一貫性のある文章を書いている。 c: 社会的な話題（人権）について、情報を整理して論理的に一貫性のある文章を書こうとしている。	
	学年末考査			

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度